



♪♪協会のご案内♪♪  
ピアノをいつも健やかに

一般社団法人日本ピアノ調律師協会の調律師は、  
あなたのピアノを最高の状態に調整いたします。



ピアノは“生きもの”。  
美しい音を奏でるためには、ピアノの調律が必要です。

木やフェルト、皮などの自然素材を使い、複雑な機構を持つピアノは、温度や湿度の変化にとっても敏感。また、強い力で張られた弦の微妙なチューニングは、時間の経過によって変化を生じます。そう、ピアノは生きているのです。この“生きもの”であるピアノの健康を守るのが、ピアノのお医者さんともいえる「ピアノ調律師」です。

ピアノ調律師は、コンサートホールのピアノもご家庭のピアノも、それぞれにふさわしい最良の音に調整する“音づくりの専門家”。そんなピアノ調律師の全国ネットワーク組織として幅広い活動をしているのが、私たち日本ピアノ調律師協会なのです。

# 専門家としての知識と技術を常に磨き、貢献を。

## 技術研修



日本ピアノ調律師協会は、優秀な技術者が在籍する「技術ノウハウの宝庫」。営利を目的としないため、学ぼうとする気持ちさえあれば幅広い技術を身につけることができます。新人向けの基礎研修やベテラン技術者の更なるレベルアップにつながる研修など、各支部ではさまざまな研修を意欲的に開き、会員の相互の技術交流を行っています。

## 優秀な技術者集団

国家検定が開始される以前から、既に日本ピアノ調律師協会では、入会のための厳しい技術審査が行われてきました。会員は全員がこの審査合格者として、高い信頼を頂いています。さらに、入会後も、基本から上級まで、相互の勉強会・研修を通じ、切磋琢磨を繰り返しています。

## 調査研究・修復

当協会は、ピアノ技術を通じた社会貢献に力を入れています。その中心となるのが、歴史的ピアノの調査研究と修復。関東支部のメーソン関連ピアノ修復プロジェクトが中心となり、日本の西洋音楽の黎明期を物語る貴重なピアノの修復に取り組んでいます。近年では、「天使のピアノ」と呼ばれる滝乃川学園のドーリングピアノや東京藝術大学が所蔵するクナーベ、チックリング及びびわが国に現存する最古のピアノである、熊谷美術館所蔵の「シーボルトのピアノ」の調査研究・修復を行いました。



## ピアノ調律技能検定

職業能力開発促進法に基づき、働く人々の有する技能を一定の基準により検定し、国として証明する国家試験制度が技能検定です。技能検定は都道府県が実施するものと民間団体が実施するもの(指定試験機関)があります。日本ピアノ調律師協会は、ピアノ調律職種の技能検定を実施する指定試験機関として厚生労働省より指定され、試験問題の作成、試験の実施に当たっています。



## 講演会

会員の資質向上をめざし、各支部ではおもに支部総会の機会を利用して講演会を開いています。テーマは実務に直結したものから、楽器や音楽に関するものまで広範囲。さまざまな専門分野で活躍する会員が講師を務める講演や、演奏家を招いたコンサート形式のレクチャーなど、協会ならではの講演会が各地で行われています。



## 入会審査

ピアノ調律技能検定の合格者は、2013年から協会の推薦と書類審査により入会頂けます。今すぐ入会し、勉強会や研修会で腕を磨き、ピアノ調律師の深く広い世界を堪能して下さい。

# 調律を通じて多彩な文化交流の場を創出。

## コンサート

当協会では、4月4日の「ピアノ調律の日」をPRする記念事業として、毎年各支部が主催してコンサートなどを行っています。近年では地元音大の卒業生や地元出身の若い音楽家たちによる演奏会を積極的に企画し、次代を担う若手を応援しています。また、レクチャーコンサートや古楽器によるコンサートなども好評を得ています。

\*ピアノ調律の日: Aprilの頭文字Aが調律の基準音a'(ラの音)と同じであり、A音の周波数が440ヘルツであることに由来して1993年に制定。



## 国際交流

1979年に米国で日米のピアノ技術者協会の代表が中心となって、IAPBT(International Association of Piano Builders and Technicians / 国際ピアノ製造技師調律師協会)を発足させました。現在の加盟国は個人会員も含めると31カ国。2年ごとに世界各地で総会を開いており、討議、シンポジウム等を通して技術情報の交換を促進し、友好を深め、音楽文化の隆盛を目的とする活動を続けています。日本ではこれまで東京、京都、浜松で3回の総会を開催しました。また、アジアピアノ技術者協会(Asian Piano Technicians Association)加盟組織としても、積極的な活動を展開しています。こうした国際交流を通じ、世界有数の代表的なピアノなどの技術研修も実現しています。



# ピアノの素晴らしさ、調律の大切さを広く発信。

## 広報活動

### 楽器フェアへの参加

世界的な楽器見本市のひとつである「楽器フェア」(隔年開催)に参加し、積極的なブース展開で広く活動をPRしています。



### JPTA会報

本部・支部の活動報告や技術論文、寄稿などを盛り込んだ「JPTA会報」を年3回、会員と関連業界に向けて発行。協会の活動を内外に紹介しています。



### 小学生への啓蒙活動を推進

「12歳のハローワーク」と題して、小学校の総合学習の時間にピアノ調律師の仕事やピアノの良さを紹介する授業を行っています。調律体験やピアニストの演奏も行い、好評です。



### カレンダー

音大や国内の楽器博物館が所蔵する歴史的ピアノを、写真と解説で毎月紹介するカレンダーを制作。皆様に好評を頂いています。



### ホームページ <http://www.jpta.org/>

協会ホームページでは、協会の概要やピアノ/Q&A、ピアノ調律師になるためには、など協会とピアノ調律に関する情報をわかりやすく紹介しています。ぜひご覧ください。



## 本部・支部事務所一覧

●本部 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-18-21 楽器会館5階 TEL.03-3255-3897 FAX.03-3255-9246

### ●支部事務所

#### 北海道支部

〒060-0808 札幌市北区北8条西4丁目22-1  
㈱ヤマハミュージックリテイリング 札幌店気付  
TEL.011-798-3500 FAX.011-798-5166

#### 東北支部

〒981-3222 仙台市泉区住吉台東2-5-14 小田島 智方  
TEL.022-376-2922 FAX.同左

#### 信越支部

〒943-0802 上越市大豆2-10-12 長谷川 正幸 方  
TEL.025-543-8413 FAX.同左

#### 関東支部

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-18-21 楽器会館5階  
TEL.03-3257-0440 FAX.03-3255-9246

#### 静岡支部

〒436-0038 掛川市領家1480 ヤマハ(㈱)掛川工場内  
ヤマハピアノテクニカルアカデミー気付  
TEL.0537-24-7704 FAX.0537-24-8019

#### 中部支部

〒461-0045 名古屋市中区砂田橋1-1 サンコート砂田橋3-312 伊東 基貴 方  
TEL.052-721-6353 FAX.同左

#### 北陸支部

〒910-0103 福井市中角町44-26 勝木 晴一 方  
TEL.0776-55-1007 FAX.0776-55-0182

#### 関西支部

〒657-0842 神戸市灘区船寺通4-5-12-603 菅沼 範治 方  
TEL.078-881-7759 FAX.同左

#### 中国支部

〒730-8628 広島市中区紙屋町1-1-18  
㈱ヤマハミュージックリテイリング 広島店 ピアノ技術課気付  
TEL.090-7978-0440 FAX.082-244-3668

#### 四国支部

〒791-8004 松山市鴨川2-9-6 田村 浩方  
TEL.089-926-0867 FAX.同左

#### 九州支部

〒812-0893 福岡市博多区那珂2-11-28 宮本 日出夫 方  
TEL.092-474-8535 FAX.092-441-2877



一般社団法人 日本ピアノ調律師協会

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-18-21 楽器会館5階  
TEL.03-3255-3897 FAX.03-3255-9246  
E-mail info@jpta.org <http://www.jpta.org/>

# 日本ピアノ調律師協会は音楽文化の発展に貢献することを目指しています。

日本ピアノ調律師協会(略称:JPTA)は、音楽文化の発展の基礎となるピアノ(オルガンをはじめとする鍵盤楽器)の調律に関する技術の向上及び研究の促進に努めるとともに、ピアノの適切な管理保全についての啓蒙指導を行い、それによってわが国の音楽文化の発展に寄与することを目的として、次の事業を行っています。

## JPTAの主な事業内容

- 1 研究会、研修会の開催による技術の向上
- 2 ピアノの管理保全についての啓蒙指導
- 3 ピアノの調律及び関連技術の研究助成
- 4 ピアノ調律技能検定の実施
- 5 幅広い分野の専門家による講演会の開催
- 6 資料収集及び調査
- 7 国際活動を通じた技術交流
- 8 会報及びピアノ調律等技術に関する出版物の刊行
- 9 その他、目的を達成するために必要な事業

## JPTAの歴史

大正時代半ばから末にかけて米国留学から帰国したピアノ技術者たちの提唱により、1925(大正14)年に「関西ピアノ技術者協会」、1930(昭和5)年、関東に「ピアノ技術者協会」が誕生。そして1931(昭和6)年に東西が合流し、現在の協会の前身である「全国ピアノ技術者協会」が結成されました。1973(昭和48)年11月1日には、文部省文化庁(当時)所管のもとに(社)日本ピアノ調律師協会として、公益法人の認可を取得。今日では全国11支部に正会員約3000名、賛助会員約100社を有する組織に成長しました。また、2011(平成23)年には国家検定「ピアノ調律技能検定」指定試験機関として厚生労働省から認可されました。また、さらに世界を舞台に国際ピアノ製造技師調律師協会の発足時からの幹事国として活躍を続けています。

## JPTA 年表

1917(大正6)	米国留学から帰国した福島琢郎氏がチューナーズ・ギルドの結成を提唱	1989	第6回IAPBT総会を京都市で開催
1924	米国留学から帰国した河野三郎氏が技術者組織の結成を提唱	1999(平成11)	第11回IAPBT総会(ピアノとその仲間たちの世界大会)を浜松市で開催
1925	「関西ピアノ技術者協会」誕生	2001	「楽器フェア」に「メーソン教授のピアノ」を修復展示
1930	「ピアノ技術者協会」誕生(関東)	2003	「楽器フェア」に調律をテーマに出展
1931(昭和6)	東西組織が合流し「全国ピアノ技術者協会」結成	2007	「楽器フェア」にチックリング社製スクエアピアノを修復展示
1934	第1回総会を開催(関東にて)	2009	「楽器フェア」に「シーボルトのピアノ」を修復展示
1948	初めての入会審査を実施	2011(平成23)	ピアノ調律技能検定開始に伴い、指定試験機関として厚生労働省より認可 「楽器フェア」にリラピアノを修復展示
1973(昭和48)	文部省文化庁の許可を受け「社団法人日本ピアノ調律師協会」が誕生	2012(平成24)	一般社団法人日本ピアノ調律師協会
1979	日米協会が中心となり「国際ピアノ製造技師調律師協会(IAPBT)」発足	2014	「楽器フェア」にキャビネットピアノを修復展示
1983	第3回IAPBT総会を東京都で開催		

